



HAG(ハンドメイド・アニメーション・グランプリ)2017

“横浜賞”受賞者が決定!



若手アニメーション作家の育成支援を目的としたショートアニメーションのコンテスト、「HAG(ハンドメイド・アニメーション・グランプリ)」の“横浜賞”3部門の受賞者が決定しました。

受賞者には、横浜市から作品の制作費が提供され、㈱ロボット監修のもとに制作した作品は、各地のイオンシネマ等で上映される予定です。

横浜市は、この取組を通じ、若手アニメーション作家へのビジネス機会の提供と、映像を活用した横浜のプロモーションを進めていきます。

1. 横浜賞について

(1) 受賞者

【文化観光部門】

山田 詩音(やまだ しおん) 他
(グループ応募)

《略歴》

金沢美術工芸大学視覚デザイン専攻卒業の3名による映像制作チーム「Hurray!」として活動。手描きアニメーション・3DCG・モーショングラフィックスを併用した映像を制作する。



作品テーマ

「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA」

《選考理由》

完成度が高く、「ザ・アニメ」というテイストで可能性を感じました。車イスの方が登場するなど、ユニバーサル視点を意識している点も良かったです。



【環境創造部門】

胡 ゆえんゆえん(こ ゆえんゆえん)

《略歴》

1986年中国生まれ。4歳から日本に滞在し小学校卒業後、帰国。2009年南京芸術学院グラフィックデザイン専攻卒業。2012年東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。現在映像作家として日本で活動中。



作品テーマ

「横浜みどりアップ ～みんなで育むみどり豊かな美しい街～」

《選考理由》

アニメーションの技術も高く、横浜のまちをよく観察していて、横浜みどりアップ計画の理念もしっかりと表現されていました。



【交通部門】

大寄 友(おおより ゆう)

《略歴》

1980年東京生まれ。国内外のCMのディレクション、モーショングラフィックス、ミュージックビデオ、ファッション映像など多岐にわたり映像作家として活動している。



作品テーマ

「横浜快速 ～横浜の街とまちを結ぶ市営地下鉄～」

《選考理由》

市営地下鉄の歴史観が的確に表されていて、ラストの夜景のグラフィックもよく、乗ってみました。



(2) 提供制作費 各部門 150 万円 (横浜市負担)

(3) 今後のスケジュール H30. 1 作品完成
H30. 2 HAGイベントで作品上映(予定)
※以降、首都圏 26 館のイオンシネマや市内交通媒体(市営地下鉄)
などで上映します。(時期は調整中)

2. “横浜賞” 公開選考プレゼンテーションの様子

(1) 日時 10月8日(日) 午後0時～午後4時30分

(2) 会場 恵比寿ガーデンシネマ



お問合せ先

文化観光局企画課横浜プロモーション担当課長	貝田 泰史	TEL : 045-671-4065 (全体・文化観光部門)
環境創造局みどりアップ推進課長	相場 崇	TEL : 045-671-2811 (環境創造部門)
交通局高速鉄道本部営業課長	赤松 美直	TEL : 045-326-3851 (交通部門)